

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： ()

教科 保健体育 の目標： 生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための能力を身に付ける。

【知識及び技能】 社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、他社に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しみとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するために課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、事故の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、毛連行・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しみ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 体づくり運動 【知識及び技能】 心身の状態に気づき、計画を立てる能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の必要性に気づき、主体的に運動を実践させる。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い、一人ひとりの違いを認識して運動を実践する。	・指導事項 馬飛び運動・ムカデ競争 全員リレー・4人走 ・教材 鉢巻・棒・パトン ストップウォッチ ・一人1台端末の活用 運動実践記録の整理等 検討中	【知識・技能】 体づくりに対する理解・構成要素についての知識への対応 【思考・判断・表現】 楽しく体を動かすこと・運動の行い方への対応 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いを理解した態度 合意形成に貢献しようとする態度	○	○	○	8
	A 単元 スポーツテスト 【知識及び技能】 自分の体力と向き合う。 努力によって記録が向上する体験 【思考力、判断力、表現力等】 体力の必要性を理解し、運動を実践する習慣を身に付ける工夫。 仲間どうすれば記録が伸びるか仲間と話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い高め会おうとする姿勢。 個人の違いを理解した合意形成	・指導事項 反復横跳び・上体お越し 長座体前屈・握力・50m走 持久走・ハンドボール投げ ・教材 ライントレープ・マット 長座体前屈計測器・握力計 ストップウォッチ・記録表 ・一人1台端末の活用 計測記録の整理等 検討中	【知識・技能】 スポーツテストの意義についての理解・体力の構成要素に対する対応 安全に運動を行うための知識への対応 各種目への練習態度と記録 【思考・判断・表現】 各目の体力の構成要素への理解 記録向上のための取り組みと練習方法の理解 課題解決のための取り組み方への工夫 【主体的に学習に取り組む態度】 記録の向上のために主体的に取り組むとともに互いに高め会おうとする態度。 一人一人の違いに応じた動きなどを大切に する態度 合意形成に貢献し、全員が効率よく練習できるようにする態度	○	○	○	8
	D 単元 水泳 【知識及び技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高める。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を継続するための工夫と自己やチームの考えたことを伝えていく。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組む、一人ひとりの違いを理解する、水泳の事故防止に関する心得を尊重する。	・指導事項 水泳の基本・クロール・平泳ぎ 初心者指導 ・教材 ストップウォッチ・ビート版 他 ・一人1台端末の活用 泳法の確認・練習成果の確認 等	【知識・技能】 技術の名称・技術の高め方などの知識。自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐこと。 クロールと平泳ぎの泳法 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を継続するための自己課題の発見 合理的・計画的な課題解決のための取り組み 自己や仲間の考えたことの共有 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に水泳に取り組む姿勢。 ルールやマナーを大切にする姿勢 個人の違いに適した練習への理解。 水泳の事故防止に対する態度・取り組み	○	○	○	12
	定期考査	課題提出	担当教員による課題への評価	○	○		1
	E 単元 ソフトボール(ベースボール型) 【知識及び技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を継続するための工夫と自己やチームの考えたことを伝えていく。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組む、一人ひとりの違いを理解する、仲間との協力によってゲームを展開する力。	・指導事項 スローイング・捕球技術 バッティング・走塁・試合の仕方 ・教材 ソフトボール用具一式 ・一人1台端末の活用 試合の記録・自信のフォームのチェック 等	【知識・技能】 技術の名称・技術の高め方などの知識。試合に必要な技術を効率を高めていく。試合において安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防する。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を継続するための自己課題の発見 合理的・計画的な課題解決のための取り組み 自己や仲間の考えたことの共有 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に練習に取り組む姿勢。 ルールやマナーを大切にする姿勢 個人の違いに適した練習への理解。 事故防止に対する態度・取り組み	○	○	○	4

